

市政に対する一般質問

(令和7年3月17日)

◎質問1番

5番 高 木 健 太

1 デジタルデバイド解消に向けた戦略的施策の検討について

- ① 当市の高齢者のインターネット利用状況およびデジタルデバイドの現状について
- ② 高齢者向けデジタル教育およびデジタル推進体制について
- ③ デジタルデバイド解消に向けた中長期的な計画・ロードマップについて

2 小千谷市の錦鯉産業支援について

- ① 錦鯉の輸出市場拡大に向けた支援と取組について
- ② 輸送コスト低減および物流支援について
- ③ 錦鯉生産者の後継者不足と新規参入支援について
- ④ デジタル技術を活用した錦鯉ブランド戦略について
- ⑤ 減少する国内市場へのアプローチについて

◎質問2番

12番 森 本 恵理子

1 抜本的な人口減少対策になりうるひとり親支援について

- ① ひとり親支援の総合的な戦略について
- ② 移住支援について
- ③ 住宅補助の充実について
- ④ 婚活支援の強化について

2 厚生連小千谷総合病院産科維持のための分娩数増加施策について

- ① 4Dエコー導入について
- ② 効果的な分娩数増加策について
- ③ 分娩費用の支援について

3 子どもたちの学力向上について

- ① 学習支援事業の現状と課題について
- ② 学習支援事業の拡大について
- ③ 全国学力・学習状況調査の結果について
- ④ 親の関わり方と学習意欲の関連性について
- ⑤ 教員の指導方法と学習意欲の関連性について
- ⑥ 学力向上施策について

◎質問3番

13番 佐 藤 隆 一

1 令和7年度予算（案）について

- ① みんなの笑顔を守るまちづくり

- ・小規模な消雪組合の負担軽減策として補助金の引き上げについて
- ・ひきこもりや不登校に悩む方々への寄り添いについて
- ② 市民の挑戦をサポート、応援宣言！
 - ・「家庭で使う電気は自分で作る」における自治体の果たす役割について
 - ・小千谷小学校体育館のLEDへの切り替えについて
- ③ 子育ては断然小千谷で！
 - ・学校給食費の無償化に直ちにに取り組むべきではないですか。本気度が問われています。
 - ・空き家再生プロジェクトで移住者増加の取り組みについて
- ④ 「中部北陸自然歩道」の再生を核としたおちやを満喫する歩道づくりで自然景観を活かした環境田園都市小千谷の魅力発信について

◎質問4番

15番 長谷川 有 理

1 持続可能な地域社会への支援と物価高騰対策について

- ① 物価高騰対策対応重点支援地方創生臨時交付金の活用について
 - ・障がい福祉施設への支援を含まなかったのはなぜか。
 - ・利用者の輸送・送迎、事業所職員等による利用者の居宅への訪問等を行う燃料費支援について当市として検討しないのか。
 - ・プレミアム付商品券の発行により、当市の地域経済の活性化や家庭支援に寄与すると考えられるが、行わない理由はなにか。
- ② 医療・介護人材確保に向けた取り組みについて
 - ・ケアマネ人材確保の支援策の充実を図るべきではないか。
 - ・介護施設において、特に不足している夜勤者に対する支援を図るべき。
 - ・看護師・准看護師への支援について
看護系進路受験・進学者増加に向けた当市独自の取り組みを図るべき。
- ③ J A新潟厚生連小千谷総合病院の維持・存続について
 - ・医療従事者の離職を防ぐのか。当市の具体的な人材確保支援について伺う。
 - ・当市の地域医療として何が必要なのか、その上で、小千谷総合病院が存続するためには、何が支援策として大切になってくるのか、市長の見解を伺う。
- ④ 当市の半導体製造受託企業を軸とした雇用創出や生産能力アップや投資増額について現在の進捗状況について伺う。

◎質問5番

3番 和田 忠 篤

1 確かな学力の定着について

- ① 当市における全国学力調査の結果を、どのように分析しているか。
- ② 当市における学習状況調査の結果を、どのように分析しているか。
特に、当市の小学6年・中学3年の「学習習慣が低い」ことに対する受け止めについて。
- ③ 南魚沼市のように、全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の結果を、「広報おぢや」に掲載することについて。

2 学びの多様化学校について

- ① 「学びの多様化学校」の開設に向けたスケジュールについて
- ② 校外適応指導教室「マイルーム」と「学びの多様化学校」のすみ分けについて
- ③ 新設教科「楽集タイム」の具体的なカリキュラム、内容について
- ④ 適応指導教室「マイルーム」の利用状況について

◎質問6番

2番 佐藤 勝 義

1 国道17号・木津横断地下道の外壁修復について

- ① 国交省や県の管轄であって、市民が活用されている所は他にも多くあると思いますが、市民の安全性や景観環境の乱れ等などの観点で、管轄しているところと問題定義（協議）はどのようにされているのでしょうか。
- ② 市内、小千谷市管轄外の場所の、チェック機能（目配り）は、計画的に実行されているのでしょうか。また、不備が見つかった場合のアクション方法を教えてください。

2 こぶし通りの環境整備について

- ① こぶし通り整備事業当初から現在までの、こぶしの木の伐採実績はどのくらいあるのか教えてください。
- ② 現状の「こぶしの木」の状態（安全性に関わるもの）の把握をされているのか。その把握方法を教えてください。
- ③ 整備委託業者と危険予知や問題点等、定期的な検討は行われているのか教えてください。
- ④ 今までの整備実績から、今後の整備対応策などの方向性があれば教えてください。
- ⑤ 現状のこぶし通りに関して、城川地区との連携などの協議はされているのか教えてください。

◎質問 7 番

1 4 番 久保田 陽 一

1 県外在住の小千谷市民の避難について

- ① 県外で被災した小千谷市民等の小千谷への避難に関して、防災計画への記載や過去に検討を行った経緯は。
- ② 平成 1 6 年 5 月 1 2 日に杉並区と締結した災害時相互援助協定。小千谷市が被災した中越大震災から 2 0 年が経過し、新たな年度に入るこのタイミングで小千谷市民の避難など、今一度協定内容の見直しや条項追加など協議が必要では。
- ③ 南海トラフ巨大地震等で東京などが被災地となった場合、小千谷市民の小千谷市への避難の拠点は災害協定を結び、唯一の小千谷市の所有建物である杉並区の小千谷学生寮が最適と考えるが市長の見解は。
- ④ 小千谷学生寮に災害用備蓄品は整備されているのか。
- ⑤ 整備されているならば備蓄内容と備蓄量を。
- ⑥ 整備されていなければ早急に検討し、整備すべきと強く思うが見解は。

◎質問 8 番

4 番 佐 藤 瑞 穂

1 人口減少を見据えた消防・救急の広域化について

① 小千谷市の火災、救急の傾向

小千谷市における近年の通報件数、火災の発生件数及び救急出動件数、平均現場到着時間、平均収容所要時間はどのように推移し、増加等の傾向が見られるか。高齢化、人口減少の進展という人口構成の変化により、将来的な消防力の維持、体制の向上についてどのような懸念があるか。

② 現状と司令業務の共同化への課題

I C T 化や業務の効率化、人員の最適な配置に向けた司令業務の共同化など、より高度な連携・協力を推進する必要性や自治体間の現状、実現に向けた課題をどのように分析しているか。

③ 救急業務における広域化の重要性

救急業務の増加や平均現場到着時間、平均収容所要時間の延伸の状況を鑑みると、市民の生命を守り安全と安心を確保するため、特に救急出動における小千谷消防署管内の小千谷市・川口地域と隣接する地域との相互乗り入れの重要性が次第に高まっているものと考ええる。将来的な視点も踏まえて協議を進めるべきではないか。ご見解を伺います。

2 広域的な小千谷市のプレゼンスについて

① 大阪・関西万博に対する小千谷の関わり

今回の大阪・関西万博に小千谷市や小千谷の事業者・団体等がど

のような関わり方をするのか、これまでの経過を含めて伺います。

② 第10回ぼうさいこくたいと小千谷の関わり

新潟県で初開催となるぼうさいこくたいに小千谷市や小千谷の事業者・団体等がどのような関わり方をしているか、これまでの経過も含めて伺います。

③ 信濃川火焰街道と小千谷

信濃川とゆかり深い風土をもつ小千谷市として、信濃川火焰街道協議会加入のメリット・デメリットをどのように評価し、現在までの経過となっているのでしょうか。また、火焰型土器に象徴される信濃川流域一帯の縄文文化の保存と発信について、現在の小千谷市としてのご見解を伺います。

④ 地域連携DMOの雪国観光圏と小千谷

雪国が育んだ産業文化の維持・発展や雪国としてのブランド化は、人口減少社会のなか、将来的にも小千谷市として単一自治体で完結できるのでしょうか。観光面や文化産業振興の面では、むしろ広域的な戦略から客筋や販路の模索から活路を見出す道も有効ではないのでしょうか。雪国観光圏に対する見解をはじめ小千谷の観光施策の現在までの経過と今後の可能性について、ご見解を伺います。

市政に対する一般質問

(令和7年3月18日)

◎質問9番

10番 住 安 康 一

1 「みんなの一步で、未来づくり大作戦」について

① 市民総参加のプロジェクト「みんなの一步で、未来づくり大作戦」の今後の方向性、展開をどのように考えているのか伺うとともに、今後、私たち市民はなにをすればよいのか、企業は何をすればよいのか、そして、行政は何をすればよいのか、どのような一步を踏み出せばよいのか。改めて、市民へのメッセージを伺う。また、最重要施策であるこのプロジェクトおよび声かけ大作戦を一人でも多くの市民とひざを突き合わせて周知し、納得・理解してもらうことが重要と考える。市民総参加のプロジェクト「みんなの一步で、未来づくり大作戦」をどのように周知し納得・理解してもらうのか、お考えを伺う。

2 道路の陥没対策について

① 本市としては空洞調査を含めどのように道路の陥没防止対策を推進するのか。また、各地で陥没事故が起きていることを鑑み、修繕や更新を計画的に進めることに対し、計画変更も検討すべきと考える。ご見解は。

3 耐震化や老朽化工事などによる水道料金の値上げについて

① ガス事業譲渡金を現在の上下水道の料金の値上げを抑えるために活用するのか、それとも、今後目の前に迫っている耐震化工事の際の値上げ抑制に活用するのか、ガス事業譲渡金の活用方法について伺うとともに、水道料金の値上げに関しての現状の考えを伺う。

4 G I G Aスクール端末の適正な処分について

① 確認の意味で、G I G Aスクール端末の更新の全体台数と再使用台数、処分を委託する台数、環境教育などの中での利用台数の概略数を含めた処分の考え方について、伺う。また、まだ使用可能な端末については、再使用・資源有効活用を積極的に進めるべきと考えますが、どのような活用を考えているのかを、伺う。

② データ消去が適切に実施されるため、端末処分業者の選定を含め、G I G Aスクール端末の適正な処分をどのように進めるのか。考えを伺う。

◎質問 10 番

7 番 阿 部 守 男

1 森林環境譲与税の活用について

① 森林環境譲与税は森林の整備や担い手の育成、木材の利用促進などに使用とされているが現状はいかがでしょうか。伺います。

2 小千谷市の人口減少対策について

① 人口減少対策について「医療、教育」が第一と捉えます。お考えを伺います。

◎質問 11 番

1 番 廣 井 良 宣

1 文化財について

① 文化財の保管及び作業場所について

② 学芸員の人員増について

2 部活動の地域移行について

① 令和 5 年度に取り組みをした種目について

② 生徒に対しての説明・対応について

③ 実施の目途が立っているスポーツ・芸術活動について

④ 保護者の心配事や負担の緩和について

⑤ 指導者の確保について

◎質問 12 番

8 番 内 山 博 志

1 小千谷市の訪問介護事業の現状と対応について

① このたび当市が行った訪問介護事業者へのアンケート調査はどのような方法で行なわれたのか、どのような生の声が聞かれたのか伺います。

② 他市の状況についてどの程度情報収集しているのか。他市も訪問介護の基本報酬引き下げで事業所の影響アンケートを行っているが何か取得した情報はありますか、ありましたらその見解を伺います。

③ 物価高騰に対する支援では、何パーセント程度支援するのか。当市ではその額はどの程度か伺います。

④ 訪問介護の基本報酬が引き下げられたが、当市のような豪雪地、車を使って遠距離介護している事業所にとって不利になることが十分予想されていたが、このアンケート結果を当市としてどのように受け止めているのか伺います。

⑤ 訪問介護の基本報酬が引き下げられたもとで今後の訪問介護事業所の経営をどのように予想しているのか伺います。

⑥ 訪問介護利用者が減少し、施設利用者が増えているとの分析もあるが、なぜそうなっているか、また、その違いによる利用者負担金額はおよそどう違うか伺います。また、当市の介護予防事業の効果との関係で、この現状をどのように分析するのかご見解を伺います。

⑦ 基本報酬引き下げで支援を求める訪問介護事業者に対する今後の対応を、小千谷市としてどうお考えか伺います。

2 教職員の働き方改革と不登校問題について

① 学校現場から教職員の負担軽減、公会計化を望む声はどのように教育長に届いているのでしょうか。

② 子供たちの健やかな成長を保障するために、市として出来る学校給食費の公会計化を進めるべきではありませんか。お考えを伺います。

◎質問 1 3 番

6 番 平 澤 智

1 商工業振興事業について

① 商店街等活性化支援事業補助金制度について

② 空き店舗実態調査の結果について

2 柏崎刈羽原子力発電所に対する対応について

① 電源三法交付金について

② 災害時の避難路整備等について

③ 発電所安全対策についての認識向上について

◎質問 1 4 番

1 6 番 田 中 淳

1 不登校状態の自閉スペクトラム症の生徒への継続的支援と対応について
当市では、不登校の子どもたちの現状を踏まえ、中学生を対象に体験学習などを取り入れたカリキュラムを用意しユニークな教育を行う「学びの多様化学校」を、設置すると発表しました。

登校できない理由は様々ですが、コミュニケーションをとることが苦手で、先生や同級生との人間関係でトラブルを抱え、必然的に不登校になる子供たちは近年増加してきており、最近の調査では増加傾向にあるとされています。

このような社会情勢の中、多様化学校を設置は大きな意義があると考えており、今回の質問に於いては学校卒業後の就労後も職場環境に馴染めず結果として家庭内に引きこもってしまうことのない教育として支援するのかを質問するものです。

① 自閉スペクトラム症は早期発見・早期介入による効果が指摘されており、乳幼児期の発達障害診療の中心的な対象となると考えます。自閉スペクトラム症による不登校児を少しでも減少するためには、乳幼児期からの診療体制が不可欠と云えます。

当市の精神科医による乳幼児期からの診療体制についてお聞きします。

② 自閉スペクトラム症状態の方への対応には、公認心理師だけでなく精神科医をはじめとする言語聴覚士、作業療法士、理学療法士らとのチームで、どのような支援を行うべきかを検討することが必要と

考える。教育長の考えをお聞きします。

- ③ 不登校状態を呈したＡＳＤのある中学生に対する診断基準について、担当課として医学的な判断について市としての基準は持っているのか。必要性の有無を含め答弁願います。

２ クラブ活動の地域移行について

本年８月に向け、中学校のクラブ活動が地域移行となり１３種目の地域クラブが基本的に全市１区で活動する予定と発表されておりますが、市の取り組み状況について質問するものです。

- ① 運営母体と予算措置について
- ② 文化部の取り組みについて
- ③ 団体競技への取り組みについて
- ④ クラブ活動の地域移行にともなう保護者への周知や情報開示について
- ⑤ 下校後の学習時間とクラブ活動の両立についての考え方

◎質問１５番

１１番 駒井和彦

１ 消滅可能性自治体から自立持続可能性自治体への政策について

- ① 未来づくりアンバサダーについて
 - ・ 市民協働条例の制定について
 - ・ 登録者の現状について
 - ・ 県外登録者の早期登録について
 - ・ 今後の活動方針や成果目標等について
 - ・ アンバサダーの名刺、バッジ作成・配布について
 - ・ スペシャルアンバサダーの任務強化について
- ② 重点政策４．５について
 - ・ 当市がトップレベルにある根拠について
 - ・ トップを目指すべきアイデアについて
- ③ 当市における安全性に不安な公共インフラについて
- ④ 観光協会について

２ 柏崎刈羽原発再稼働について

- ① 国から当市への説明状況
- ② 事業者の適格性について
- ③ 知事に廃炉を進言する事について